

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
			<p>歴史的街並みを活かした景観まちづくりに積極的に取り組んでいますが、県西エリアの歴史的街並みの景観を一体的に保全・活用していくために、歴史的街並みを生かし、地域全体で統一した案内板やサイン、街具等を設置するなど、他都市に先駆けた統一仕様のデザインについて検討する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>磯部稲村神社の参道の桜並木について、樹種更新のほか、筑波山の眺望や歴史的景観資源との連携を図った活用方策、視点場を生かした景観まちづくりなどを検討する必要があります。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>真壁の街並み (桜川市)                      見世蔵 (筑西市)</p>
19	産業	<p>計画高速道路沿線 (圏央道、北関東自動車道)</p> <p>(所在地) 五霞町、境町、坂東市、常総市、つくば市、牛久市、阿見町、稲敷市、桜川市、笠間市、茨城町、水戸市、ひたちなか市</p>	<p><b>【広域景観の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、整備が進められている高速道路（圏央道、北関東自動車道）インターチェンジ周辺地域では、流通・生産・研究・業務等の産業系の開発と集積が進んでおり、利便性が高まるにつれ、今後一層の沿線開発が進むものと予想されます。</li> </ul> <p><b>【広域景観づくりの方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後一層の沿線開発が進むと予想されるため、道路構造物や工業団地、ニュータウン等の大規模開発を想定して市町村と連携を図りながら景観ガイドラインを作成する必要があります。</li> </ul>

## 5-2 広域景観づくりのためのシナリオの提案

設定した 19 件の広域景観の中から、3 件の広域景観でケーススタディを行い、優れた広域景観を地域の資産として活かし、地域振興や観光振興、交流人口の増加など地域の新たな活力につながる広域景観づくりのためのシナリオを提案します。

### (1) 県北海岸・溪谷エリアにおけるシナリオ

#### 1) 現状

- ・茨城の県北エリアの海岸は、日立市から北茨城市まで約 28km にもわたって 6 カ所の海水浴場と海食崖の変化に富んだ海岸線が続き、美しい海岸の景観が楽しめる景勝地で、県を代表する観光資源としても認知されるなど、県内外から多くの観光客が訪れています。
- ・当該地域の海岸線には、磯原二ツ島海岸・五浦海岸と岡倉天心や横山大観と縁が深い六角堂（北茨城市）、日本の渚百選にも選ばれた高戸海岸（高萩市）、鶉の岬・川尻海岸・小貝浜海岸（日立市）などの景勝地や平潟漁港・大津漁港（北茨城市）、周辺には国民宿舎鶉の岬や茨城県天心記念五浦美術館・民俗資料館、地域物産センター等が分布しています。
- ・北茨城市では、海岸エリアの広域景観や漁業体験を活かしてブルーツーリズムによる地域振興の取り組みがなされており、漁業体験や漁港等の有効活用、海岸景観の保全活動、清掃活動など、地域の生活環境の整備や景観まちづくりに積極的な取り組みが見られます。
- ・また、地域の海岸周辺には、美しい海岸景観を眺望できる眺望地点（視点場）が数多く立地し、代表的なものに次のようなものがあります。
  - ・日立市の鶉の岬、伊師浜海岸、小貝浜駐車場からの海岸景観、かみね公園展望台からの市街地の眺望は「日立二十四景（自然景観）」に選定
  - ・高萩市の高戸浜海岸は、江戸時代の「松岡八景」の「高戸の帰帆」の一つに数えられ他に、「日本の渚百選」に選定
  - ・北茨城市の五浦岬公園展望台、天妃山、磯原二ツ島海岸は、初日の出の名所
- ・その他、広域景観には選定されませんでした。日立市の県道日立山方線から眺望できる日立鉾山の大煙突は、工業都市日立のシンボルとして市民に親しまれ、大正 3 年に建設された産業遺産であるとともに、新田次郎の小説「ある町の高い煙突」のモデルにもなるなど、今後、積極的な PR と活用方策を検討する必要がある景観資源でもあります。



五浦海岸と六角堂



高戸小浜の海岸景観



花貫溪谷の自然景観



日立鉱山大煙突の産業景観

## 2) 検討課題

- ・これらの県を代表する海岸景観と周辺の地域との関連性をみてみると、市街地及び幹線道路沿いの景観の現状は、国道6号沿いの市街地周辺で屋外広告物や統一感のない建築物・工作物が無秩序に立地していることにより、県内有数の観光地及び景勝地のイメージが壊されています。
- ・当該エリアには、地形的な変化に富んだ海岸景観や花貫溪谷等の自然景観、広域景観資源からもれた様々な地域レベルの景観資源、県民に広く認知された眺望地点等などが豊富に分布していますが、これらの景観資源の連携と活用方策、地域の係り方を明らかにする必要があります。

### 3) 当該エリアにおける景観活用方針

- ・ 県内有数の観光地及び景勝地のイメージを損なっている景観を改善していくためには、良好な景観形成に係る行為の制限について、広域景観形成基準の策定が考えられます。
- ・ 広域景観資源と関連性がある地域レベルの景観資源の活用についても考え、新たな自然景観や生活景観、産業景観等の発掘を行い、生かすべき景観資源や周辺施設と視点場の検討の他、視点場やアクセス道路の環境整備など、県・市町・地域住民・市民団体・地元産業界等との役割分担を明らかにして、景観資源を活用した景観まちづくりを推進する必要があります。

### 4) 景観まちづくりの具体的な実践方策例

#### ① 広域景観周遊ルートの設定(観光振興の観点からの景観まちづくり)

- ・ 「新茨城県総合計画(元気いばらき戦略プラン)」の重点戦略の一つとして掲げられている「広域交流時代の幕開け戦略」の5000万人の観光客実現に向けて、当該地域の海岸景観・花貫溪谷・地域レベルの様々な景観資源の活用や隠れた景観資源の発掘等を行い、広域景観周遊ルートの設定による実践方策を提案します。
- ・ 例えば、美しい海岸景観と「五浦(六角堂・太平洋の景観・あんこう鍋・日本美術を堪能)、平潟のあんこう鍋、茨城県天心記念五浦美術館」との連携による広域景観周遊ルートの設定。
- ・ 北茨城市の「大津港駅から平潟漁港→茨城県天心記念五浦美術館→六角堂→五浦岬公園→大津漁港→二ツ島→野口雨情記念館→野口雨情生家・資料館→磯原駅」までの14.8km、所要時間約450分の「てくてくウォーキングコース」の案内板やサイン等の機能充実と行政と観光業界、地域住民、市民団体等との連携強化。

#### ② 広域景観誘導方策の検討

- ・ 当該エリアの広域景観を特徴づける海岸線や花貫溪谷、山並み稜線等の自然景観、北茨城市の平潟漁港・大津漁港の生活景観、主な観光施設である国民宿舎鵜の岬や茨城県天心記念五浦美術館へのアクセス道路の景観形成が重要であり、対象となる広域景観に著しく影響を及ぼすと考えられる開発行為や建築行為等について景観誘導方策を策定することが考えられます。
- ・ また、近年、時代の要請によって増えつつある大型の風力発電施設について、その立地特性から山の稜線や海岸地帯に建設されることが想定され、自然景観や自然環境と調和した設置場所や設置数、規模、高さ、色彩、自然景観に及ぼす影響など、環境行政との連携を図ることが考えられます。



参考：海岸像に立地する風力発電施設(波崎町)

### ③「県北海岸ベストビューコンテスト」の開催

- 観光振興や地域振興を支援する目的で、約 28km の美しい海岸の景勝地や花貫溪谷を含めて、県民及び当該地域への観光客をも含めたベストビューコンテストを実施し、当該地域の海岸景観への関心と広域景観の保全に関する普及啓発等を行うことが考えられます。

## (2) 霞ヶ浦エリアにおけるシナリオ

### 1)現状

- ・霞ヶ浦は、本県東南部から千葉県北東部に広がる我が国第2位の淡水の湖で、9市町村が霞ヶ浦に接し、水郷筑波国定公園に指定されており、霞ヶ浦と霞ヶ浦越しに筑波山の眺望景観が楽しめる本県を代表する広域景観を形成しています。
- ・また、「ふるさと景観アンケート」では、市町村を代表する景観として7市町村が霞ヶ浦の眺望景観を挙げています。
- ・特に、霞ヶ浦沿岸域の石岡市の高浜地区、小美玉市の高崎地区、行方市の天王崎地区、潮来市の権現山地区、阿見町の大室地区、美浦村の大須賀地区などは、霞ヶ浦越しに筑波山を眺望できる視点場として地域の人々に親しまれ、県民に広く認知された景勝地となっています。
- ・これらの視点場からは、「筑波山ベストビューコンテスト」にも数多くの応募があり、地域を代表する眺望地点として広く県民に認識されていることが伺えます。

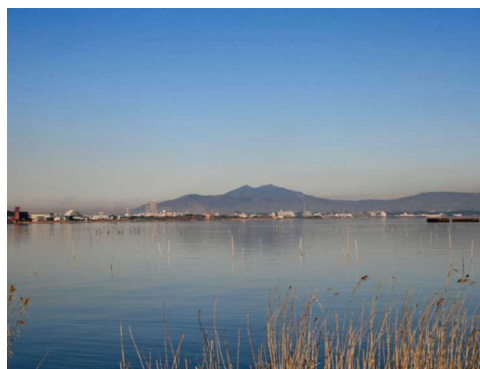
表 5-2 視対象としての霞ヶ浦(帆引き船含む) 15件(7市町村)

市町村名	視対象	視点場
1. 潮来市	霞ヶ浦	権現山
2. 潮来市	霞ヶ浦の夕日	銚子屋
3. 行方市	霞ヶ浦	湖岸堤防(浜地区)
4. 行方市	霞ヶ浦湖面、筑波山、富士山	天王崎公園付近の湖岸
5. 行方市	霞ヶ浦、筑波山	国道355号沿い
6. 行方市	霞ヶ浦の観光帆引き船	帆引き船随行船上
7. 土浦市	筑波山、霞ヶ浦	霞ヶ浦湖畔から
8. 土浦市	筑波山や霞ヶ浦等の眺望	朝日峠展望公園
9. 土浦市	霞ヶ浦の帆引き船と筑波山	霞ヶ浦湖上から(霞ヶ浦沖合い)
10. 小美玉市	霞ヶ浦、筑波山	高崎地内の市道玉0002号線沿い
11. 美浦村	霞ヶ浦、筑波山、水田	大須賀津農村公園
12. 美浦村	霞ヶ浦、ウィンドサーフィン、ジェットスキー	霞ヶ浦大山湖岸より
13. 阿見町	霞ヶ浦、筑波山	霞ヶ浦湖岸(大室地区)
14. 阿見町	霞ヶ浦、菜の花、筑波山	国道125号沿道菜の花畑
15. 稲敷市	霞ヶ浦、和田岬	堤防から

※石岡市、かすみがうら市は回答無し



霞ヶ浦の帆曳き舟と筑波山の眺望(土浦市)



霞ヶ浦と筑波山の眺望(阿見町大室地区)

## 2) 検討課題

各市町村の代表的な視点場から、霞ヶ浦越しに筑波山を眺望する視線軸上の高層建築物や工作物、高層送電線、屋外広告物等の景観阻害要素の規制・誘導について、地域が連携して広域的な観点で霞ヶ浦及び霞ヶ浦越しの筑波山の景観の保全・誘導のあり方を検討する必要があります。

## 3) 当該エリアにおける景観活用方針

- ・ 本県を代表する霞ヶ浦と霞ヶ浦越しに眺望する筑波山の眺望景観を保全するためには、沿岸の市町村が連携して広域景観形成基準を策定することが考えられます。
- ・ また、霞ヶ浦に関連がある9市町村が一体となって、(仮称)霞ヶ浦広域景観協議会による広域景観の保全及び活用方策や周辺の景観資源との連携した地域の活性化につながる方策を検討する他、県・市町・地域住民・市民団体・地元産業界等との役割分担を明らかにして、霞ヶ浦を活かした景観まちづくりを推進していく必要があります。

## 4) 景観まちづくりの具体的な実践方策例

### ① 広域景観の景観誘導方策の検討

当該エリアの広域景観を特徴づける霞ヶ浦と霞ヶ浦越しに筑波山を眺望する視線軸上の景観阻害要素について、広域景観形成基準を策定したり、地域を挙げて霞ヶ浦や筑波山の眺望を保全するための啓発活動を推進する必要があります。

### ② 広域景観マップの作成(観光振興の観点からの景観まちづくり)

「新茨城県総合計画(元気いばらき戦略プラン)」の重点戦略の一つとして掲げられている「広域交流時代の幕開け戦略」の5,000万人の観光客実現に向けて、霞ヶ浦沿岸の市町村が連携して、周辺の景観資源や観光資源等のネットワークを形成し、広域景観周遊ルートや広域景観マップの作成を提案します。

### ③ 風景写真家やライターを集めた景観モニターツアーの開催

風景写真家やライター等に呼びかけて、当該エリアの広域景観を広くPRしてもらうために、代表的な広域景観が眺望できる視点場や撮影スポット、周辺の景観資源等を巡るパブリシティ効果を狙った景観モニターツアーの開催を提案します。

### (3)筑波山エリアにおけるシナリオ

#### 1)現状

- ・日本百名山の一つである筑波山（877m）は、水郷筑波国定公園に指定され、男体山と女体山からなる美しい山容から「西の富士、東の筑波」と並び称され、古くは万葉集にも詠まれた本県を代表する広域景観を形成しています。
- ・特に、山麓のつくば市、桜川市、石岡市からの眺望や周辺地域からの眺望は、多くの県民に親しまれており、「ふるさと景観アンケート」では市町村を代表する景観として 17 市町村が筑波山の景観を挙げています。

表 5-3 視対象としての筑波山 29 件(17 市町村)

市町村名	視対象	視点場
1. 茨城町	筑波山, 潤沼湖面に映る月	潤沼の岸に整備された公園
2. 大洗町	沈む夕日（筑波山, 潤沼）	成田高架橋
3. 行方市	霞ヶ浦湖面, 筑波山, 富士山	天王崎公園付近の湖岸
4. 行方市	霞ヶ浦, 筑波山	国道 355 号沿い
5. 鉾田市	北浦と鉾田市街, 田園風景, 筑波山	鉾田第二高校の高台から
6. 鉾田市	筑波山, 北浦, 鹿島臨海鉄道	上島西小学校から
7. 土浦市	筑波山, 霞ヶ浦	霞ヶ浦湖畔から
8. 土浦市	帆引き船と筑波山	霞ヶ浦湖上から（霞ヶ浦沖合い）
9. 土浦市	筑波山や霞ヶ浦等の眺望	朝日峠展望公園（土浦市小野）
10. つくば市	筑波山	道路（神郡地区）
11. つくば市	研究学園地区と筑波山	三井ビル 19 階展望フロア
12. つくば市	桜川, 筑波山	桜橋（県道藤沢豊里線）
13. 小美玉市	霞ヶ浦, 筑波山	高崎地内の市道玉 0002 号線沿い
14. 美浦村	水田, 霞ヶ浦, 筑波山	大須賀津農村公園
15. 阿見町	霞ヶ浦, 筑波山	霞ヶ浦湖岸
16. 阿見町	霞ヶ浦, 菜の花, 筑波山	国道 125 号沿道菜の花畑
17. 古河市	筑波山	KDD I 八俣送信所
18. 常総市	筑波山	鬼怒川左岸水海道大橋付近
19. 常総市	筑波山	市営吉野公園
20. つくばみらい市	筑波山・富士山と田園風景	集落の田園から
21. つくばみらい市	1. 水辺を 2. 筑波山・富士山を	1. 河川敷から 2. 堤防敷から
22. 五霞町	筑波山	利根川堤防（利根川右岸）
23. 結城市	筑波山	見晴町
24. 下妻市	筑波山, 砂沼	砂沼広域公園遊歩道
25. 下妻市	朝焼けの筑波山	小貝川ふれあい公園花畑
26. 筑西市	筑波山, 勤行川	勤行川沿いの下岡崎近隣公園
27. 筑西市	筑波山	宮山公園
28. 筑西市	筑波山, 母子島遊水池	母子島遊水池
29. 桜川市	筑波山, 桜川	大和橋



- ・筑波山ベストビューコンテストにおいては、最優秀 2 カ所に筑西市の母子島遊水池、つくば市・桜川市・土浦市のつくばりんりんロードが選出されるなど、563 件の応募、1228 件の投票結果から筑波山の景観に県民の高い関心があることが分かります。
- ・このコンテストの視点場と筑波山の間を景観工学の観点から分析すると、日本の代表的な眺望地点から望まれる名山の仰角との関係にある俯角  $5^{\circ}$  ～ $13^{\circ}$  (3.8km～10km) の領域内に、応募した視点場が数多く分布することが確認されました。(参考資料：筑波山ベストビューコンテストにおける景観工学的分析を参照)



母子島遊水池周辺からの筑波山の眺望(筑西市) 霞ヶ浦と筑波山の眺望(小美玉市高崎地区)

## 2) 検討課題

- ・筑波山ベストビューコンテストにおける景観工学的な分析から俯角  $5^{\circ}$  ～ $13^{\circ}$  (3.8km～10km) のエリア内の主な視点場から、筑波山の視線軸上の筑波山の景観阻害要素となる高層建築物やカントリーエレベーター等の建築物、工作物、高層送電線等については、広域景観形成基準や眺望景観の保全地域についての検討の他、地域を挙げて景観保全に取り組む啓発活動の推進する必要があります。
- ・筑波山山頂からの俯瞰景観についても、最も視線が集中しやすいとされる俯角  $8^{\circ}$  ～ $10^{\circ}$  (5.6km～6.2km) のエリア内において、本県を代表する観光地でもある筑波山山頂からの眺望景観を確保するため、景観阻害要素となる建築物、大型工作物、自然地内の大規模な土地改変などの開発行為に関わる広域景観形成基準や眺望景観の保全地域についての検討が必要と考えられます。特に、つくばエクスプレスの開業に伴って首都圏方面からのアクセスが向上し、日本名山である筑波山の観光登山客は、今後ますます増大することが予想され、筑波山からの眺望景観をアピールし、地域の魅力づくりのためにも広域的な景観形成基準や眺望景観の保全地域の設定は今後の検討課題です。

## 3) 当該エリアにおける景観活用方針

本県を代表する筑波山の眺望景観を保全するために、関連する市町村が連携して主な眺望地点からの制限について、広域景観形成基準を策定することが考えられます。

#### 4) 景観まちづくりの具体的な実践方策例

##### ① 広域景観の景観誘導方策の検討

広域景観形成プランについては、近景域、中景域、遠景域に区分し、届出対象と制限の内容、景域毎に景観誘導方策を検討することが考えられます。

表 5-4 広域景観形成基準のイメージ(案)

範囲	届出対象	制限内容
近景域：眺望を保全すべき範囲 ・ 筑波山本体の姿、形が見える角度内で眺望を遮る建築物等を抑制（規制）する範囲（視点場から概ね 1km 以内）	・ すべての建築物、屋外広告物 （特に、建築物、樹木等：規模、形状、材料、色彩等のデザイン等について）	・ 建築物等の建設を原則禁止（原則として、水面、水田等を指定）
中景域：眺望を保全すべき範囲 ・ 筑波山本体の姿、形が見える角度内で、一定の視野を確保する必要がある範囲（視点場から概ね 1km～5km）	・ 一定規模以上の建築物（通り、街並み等：連続性、統一感等）	・ 建築物等の高さを制限 ・ 建築物等の色彩を制限 ・ 屋外広告物の設置制限 ・ 屋外広告物の意匠・色彩制限
遠景域：眺望に配慮すべき範囲 ・ 視点場から筑波山が視界に入る範囲（左右 60°）で視点場から概ね 5km～10km の範囲	・ 大規模建築物（山並みを背景とする建築物・工作物：一体感、まとめ、シンボル性、景観阻害要素等）	